

天神川流域だより

第2号

編集・発行：天神川流域会議事務局 〒682-0018 倉吉市福庭町1-18 国土交通省倉吉工事事務所調査設計第一課
Tel 0858-26-6221 Fax 0858-26-6299 代表者 http://www.kurayoshi-mlit.go.jp/ E-Mail kurayosi@cg.mlit.go.jp

11月18日(日) 「天神川流域ウォーク」開催！！ 小鴨川流域を見て・聞いて・歩いてきました！

「天神川流域会議」の主催により、去る11月18日(日)に「第1回天神川流域ウォーク」を開催しました。初めてということもあり、今回の募集は天神川流域会議の会員及びその関係者を対象に行いました。

今回は天神川の支川である小鴨川流域を探索し、流域の歴史・文化、自然、水辺、地域づくりの現状に触れ、学び、交流を図りました。



第1回天神川流域ウォーク 場所

参加者は森本会長をはじめ総勢40人が集い、出発直後こそ小雨の降る空模様でしたが、徐々に晴れ間ものぞくようになり流域の歴史と紅葉した山々を楽しめる秋の一日でした。

まず始めに、倉吉市に位置する北野神社を訪れました。ここでは、倉吉博物館協会 副協議会長である長兼巳氏に北野神社の歴史についての説明を受けました。

次に小鴨川を上流に向かい関金町に入り大山池を訪れました。ここでは関金町建設課長の石井譲氏から説明を受けました。水の供給に苦勞していた天神野一体(450ha)の水田をうるおすために、かんがい用としてつくられた8か所のため池のうち最大のものが大山池です。

この池の名称は正式には「^{おほやぶに}狼谷貯水溜池」ですが、大山の姿をその水面に映すことから「大山池」の呼び名が付けられています。また、池の周囲の紅葉した林を水面に映す美しい風景も望めました。

しかし、大山は豊かな水と美しい風景を地域に与えてきたばかりで



はありません。大山の噴火により形成された地盤はもろく崩れやすく、雨が降ると侵食された土砂は濁流とともに下流をおそい、多くの人命と財産がうばわれてきました。そこで、昭和7年より鳥取県による砂防工事が行われ、その後昭和9年9月の室戸台風による災害を契機に直轄砂防が開始され、現在も着々と実施されています。

さらに上流に向かい、「水車の郷」にたどり着く頃には晴れ間がのぞいてきました。ここでは「水車の郷体験工房」石臼の会の大江文雄氏から施設の説明を受けました。「水車の郷」は毎月の土日の営業です。これは、大江氏をはじめ平日は別の職を持つ人達が、半ばボランティアのような形で運営されているから、ということでした。地域の人々の熱心さと活力を感じる施設でした。ここではソバを打ち、それを食すという体験ができます(ソバだけ食べることもできます)。この体験を求めて京阪神や山陽方面からも含め、多数の人が訪れ非常に好評な施設です。また、地域の農家の収穫物も売店にあっており、これは流域ウォーク参加者にも大好評でした。

小鴨川のさらに支川である小泉川へと入っていく「清流YOU遊村」に到着しました。ここは溪流釣りやバーベキューが楽しめる施設であり(詳しくは裏面参照)、副会長である山方充夫氏の説明を受けました。

ここで各自昼食をとり、それから食後の運動！ということで、溪流をさらに上流に向かい、溪流とわさび田と森林の中のウォークを行いました。ウォーク中は森本会長による地域の植物や「たたら」(*)の歴史についての説明を聞き、紅葉した山を眺めながら歩きました。

最後に、小鴨川の支川である滝川を訪れました。大滝山不動滝をメインに上下流の溪流沿いをウォークし、今回の「天神川流域ウォーク」は終了しました。

小鴨川流域は、魅力が一杯で、ジゲおこしの活気にあふれた流域でした。



※「たたら」とは、千年近い歴史を持った日本古来の製鉄法のことをいいます。そして中国地方の山間部は、この「たたら」の本場です。

裏面もご覧ください⇒

参加者の声



森本先生の説明を熱心に聞く参加者
(写真中央が中嶋灯奈さん)

「天神川流域ウォーク」に行ったこと 北条小学校四年 中嶋灯奈

11月18日、「第一回天神川流域ウォーク」に行きました。最初に、北野神社や大山池など、いろいろな所に行って、説明を聞きました。他の人は全員大人だったので、私には難しい説明で、よく分かりませんでした。でも、大山池は、「すごく広いんだな。」と思いました。

その次に、「清流遊YOU村」に行って、説明を聞いた後、お母さんの作ってくれた弁当を、お父さんと一緒に食べました。外で食べる弁当はすごくおいしかったです。

次に上流に向かって歩きました。歩く途中で、たくさん葉っぱの名前を教えてもらって、その葉っぱをもらいました。全部で13種類にもなっていました。そんなに種類があるなんて知りませんでした。葉っぱの名前をたくさん覚えることが出来て、すごく楽しかったです。その時に、冬いちごの説明がありました。私は冬いちごを初めて食べました。食べてみるとすごくおいしくて、最高でした。探しながら歩くと、たくさん見つかり、みんなにとってもらって、いっぱい食べました。バスのなかで、忘れないように葉っぱの名前と形を紙に書きました。

18日はたくさん歩いて疲れたけど、とても楽しい一日でした。

流域施設の紹介

【清流遊YOU村】

大山山麓を流れる小鴨川の支流小泉川の源流部は、ワサビ田が広がる清流であり、周囲には豊かな自然が広がっています。その清流の流れをそのまま活かして利用する施設が「清流遊YOU村」です。

ここは、関金町の奥部に位置する小泉・米富集落の人達が、「このままでは自分たちの集落が終わりになる」と、平成8年からうるおいのある村づくり対策事業に取り組んできた中で、集落の人達が徹底的に話し合った結果、誕生した施設です。以前から釣り客の間で知られている小泉川を生かし、豊かな自然と本格的な溪流釣りなどを楽しめる作りとなっています。

【主な施設】

ルアー&フライ釣り、パーベキューコーナー、魚のつかみどり、特産品直売所 等

【お問い合わせ先】

清流遊YOU村

住所：鳥取県東伯郡関金町小泉

電話、ファクス：0858-45-1015

管理釣り場（0858-45-2900）



流域の行事案内・報告

第6回天神川凧あげ大会 開催！

と き：平成14年2月3日（日）

午前10時～14時

場 所：倉吉市巖城河川敷広場（竹田橋上流左岸）

内 容：開会式

凧あげ大会（子供・一般自由参加）

大凧あげ大会

41畳の超大凧あげ

表彰式

閉会式

主 催：天神川凧あげ大会実行委員会

問合せ：国土交通省倉吉工事事務所

電話／0858-26-6221

ファクス／0858-26-8200

平成13年11月3日（土）

「三朝温泉かじか蛙保存研究会」による

源流部への植樹が行われました。

トンネルを掘った時の残土置き場へ、広葉樹の植樹が行われました。総勢70名、遠くは北海道や千葉県からも参加する人がおられました。雨の中の作業となりましたが、子供も大人も一緒になって苗木300本全てが植樹されました。



来年もどこかに植樹していく予定です。